

2018年度研究会日誌

月/日	報告内容	報告者
(2018)		
5/29	研究会 N. エリアスにおける「サバイバルユニット」とスポーツ	坂 なつこ
6/12	研究会 包摂的なスポーツの実践と価値観の普及過程 —ダイバーシティカップを中心に—	鈴木 直文
7/24	研究会 オリンピックおよびメダリストのテレビ放送と映像 —2016年リオデジャネイロ・オリンピックの報道と バラエティ番組の内容分析を中心として— 山本夏生（一橋大学大学院博士課程） 障害者スポーツ活動と障害観の変容に関する研究 川田幸生（一橋大学大学院博士課程） 時間消費型余暇への転換 —余暇観の変化と環境整備の手法について— 青野桃子（一橋大学大学院博士課程）	
10/9	研究会 「文化の手荷物」としてのスポーツが織りなすアマルガム —オーストラリアの移民と「エスニック・ゲーム」としてのサッカー—	尾崎 正峰
11/22 ~ 23	研究会合宿 包摂的なスポーツの場作りに関する一考察 エリアスの「サバイバル・ユニット」とスポーツ・身体文化 —内海博文『文明化と暴力』についてのフリーライティングより—	中村 英仁 岡本 純也
12/11	研究会 武道における身体の国民化：戦後日本の事例	坂上 康博
12/18	研究会 「100km ウォーク」の訴求要因とは何か —研究上の課題と方法論の検討— 武井陽太郎（一橋大学大学院博士課程） スポーツ領域に対する公共性理論再構築の試み 西山裕美子（一橋大学大学院博士課程） 日本プロ野球の動態的分析1951-2008年 —日本プロ野球選手会を中心に— 阿部武尊（一橋大学大学院博士課程）	
(2019)		
2/19	研究部総括・方針	研究部
3/17	ゲスト研究会 アイルランド共和国における農村アクセス問題 釧路公立大学准教授 北島 義和	